

令和2年度第1回小高区地域協議会会議録

1 日 時：令和2年5月22日（金）
午後3時00分～4時00分
2 場 所：浮舟文化会館 ホール

●小高区地域協議会委員数：15人

【出席委員名 13名】

会 長	林 勝典	委 員	小牛田 一男
副会長	阿部 貞康	委 員	飯塚 宏
委 員	橘 由美子	委 員	室原 真二
委 員	小林 友子	委 員	杉 重典
委 員	今村 秀身	委 員	末永 義人
委 員	西山 喜代子	委 員	半谷 恵美子
委 員	田中 由里子		

【欠席委員名 2名】

委 員	本田 博信	委 員	堀内 洋伯
-----	-------	-----	-------

【説明職員等】

小高区役所長	山田 利廣
小高区地域振興課長	根本 剛実
小高区地域振興課自治振興担当係長	木幡 琴絵
小高区地域振興課副主査	大場 優（書記）
小高区地域振興課主事	岡田 智樹
小高区市民総合サービス課長	渡辺 和宣
鹿島区地域振興課長	中本 直記
鹿島区地域振興課課長補佐	星 憲
鹿島区地域振興課主査	塩 弘光
学校教育課教育企画担当課長	佐藤 克巳
学校教育課課長補佐	志賀 和浩
学校教育課主査	松嶋 一憲

1. 開 会

○事務局

定刻となりましたので、只今より令和2年度第1回小高区地域協議会を開会いたします。本日の進行を務めさせていただきます、小高区地域振興課の根本と申します。よろしくお願いいたします。

2. 小高区役所長あいさつ

小高区役所長よりあいさつ

3. 小高区地域協議会委員の紹介

地域協議会委員より自己紹介

4. 職員紹介

小高区役所職員の紹介

5. 地域自治区及び地域協議会について

小高区地域振興課 資料3により説明

6. 小高区地域協議会の正副会長の選出について

会 長 : 林 勝典 委員

副会長 : 阿部 貞康 委員

7. 議事

○事務局

本日、地域協議会委員15名中、13名の出席ということで、過半数を超えております。協議書10(2)により、本日の会議は成立しております。

議事の進行については、規定により、会長が会議の議長となります。林会長、よろしくお願いいたします。

(1) 会議録署名人の指名

○会長

会議録署名人は、阿部 貞康 委員、橘 由美子 委員の2名にお願いいたします。

(2)報告事項

報告事項①

南相馬市市民一体化復興促進基金条例及び南相馬市高速道路通行料金の

助成に関する規則を一部改正する件について

鹿島区地域振興課 資料1により説明

○会長

それでは、只今の説明について意見又は質問があれば、お願いいたします。

○小林委員

10億3000万円の基金に対し、現在の利用実績がいくらで残額がいくらなのか伺いたい。

○鹿島区地域振興課

令和2年3月31日までの助成額が1億8535万2130円。なお、この基金を利用した事業については、高速道路通行料金の助成事業のほかに、市民一体感醸成事業としまして「健康づくりトレーニングセンター整備事業」・「真野川サイクリングロード整備事業」・「市民ふれあい型一体感醸成事業」があります。高速道路通行料金助成事業として見込んでいた費用が5億3600万円。そこから1億8535万2130円と管理システム使用料を引くと、残りは約3億円になります。

○小林委員

これからの市の財政がひっ迫することが目に見えている中で、コロナ対策などに充てられないのかというのが率直な意見です。市民一体感醸成事業とは、いったいどういうものなのか。市の財源として使ってほしいという意見は出なかったのですか。

○鹿島区地域振興課

平成30年度にこの制度ができてから、質問があったように財源として余ることがあったら、一般財源に落としてほしいという話がありました。今後、利用状況をみながら財源を有効に活用していきたいと考えています。今時点で、一般財源に落とすことについては保留にさせていただきたいが、一体感

醸成事業というのが目的でありますので、そちらの方に財源を充てさせていただきたい。

○今村委員

参考までにお伺いしたいのだが、20km圏内の高速道路通行料無料化が令和3年3月31日まで延長になったところだが、無料化の制度が令和3年9月30日以前に終了していても、鹿島区の高速道路通行料無料が令和3年9月30日まで延長されるのですか。

○鹿島区地域振興課

平成30年にふるさと帰還通行カードを2年間延長することになった際、それに合わせて平成30年4月から令和2年3月31日の期間で、鹿島区の高速道路通行料無料化も実施する予定でした。しかし、事務手続きに半年かかってしまったので、(20km圏内と)同じ2年間の無料期間を確保するため、平成30年10月から令和2年9月30日までとしたところであります。事務局の考えとしては、ふるさと帰還通行カードの無料が1年延長されたので、20km圏内の無料化が令和3年3月31日に終了しても、鹿島区も同様に1年間期間を延長し令和3年9月30日までとしたいと考えています。

○小牛田委員

先ほどの説明によると、5億3000万円以外のところは施設整備に使ったようだが、市の単独財源で行ったものですか。

○鹿島区地域振興課

こちらについては市の単独財源ではなく、震災以降さまざまな交付金が入ってきたものを活用し、基金を造成したものです。

○林会長

10億3000万円は高速道路料金助成事業のための基金造成という認識だったが、他の建設事業に使用しているということは目的外使用にならないのでしょうか。鹿島区の高速道路料金無料化に反対するということはないが、資金の運用については疑問に思うところがあるので、今後、その件については、ご説明をしていただきたいと思います。

○鹿島区地域振興課

基金造成については、当時、鹿島区の1万3000人の人口をもとに算出した金額ですが、10億3000万円をすべて高速道路料金助成事業に充てて使い切るということではなかったと思いますので、残った金額をどのように使うかは今後の検討課題としてとらえています。

報告事項②

小高区小中学校再編計画（素案）に係るパブリックコメントの手続き実施について

学校教育課 資料2により説明

○会長

それでは、只今の説明について意見又は質問があれば、お願いいたします。

○阿部委員

小高区内の小中学校を統合した際、廃校となる校舎・校庭等の利活用については、いずれ地域協議会の場に提案をしていただけるのでしょうか。

○学校教育課

学校統合準備協議会の中でも、廃校となった校舎等の利活用についてご意見をいただいています。地域協議会でも提案という形ではなく、小高区の地域の課題としていただき、議題の1つとして取り上げていただくのも1つの手ではないかと思っています。

○阿部委員

現在、市有財産についての見直しを行っている段階だと思います。基本方針のまとめも今後あるかと思っています。他の市町村では、統合した際に校舎を含め売却・公募をしたりしているようなので、市で検討した後に地域にも落としていただいて、地域で利活用できないのかも考えたいので、その辺もご検討いただきたいと思います。

○学校教育課

ただいまお話をいただいた件については、市の関係部署、学校施設を管理する教育委員会内の教育総務課及び市の財産を管理する公有財産管理課などと連携しながら進めていくものと考えます。

8. その他

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

小高区地域振興課より 追加資料1・2により説明

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

○今村委員

次回以降の地域協議会の際、小高区の年代別の居住人口がわかる資料をいただきたい。小高区の状況を理解したうえで、話し合いをする必要があると思います。

○事務局

次回以降、資料としてつけさせていただきます。

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

9. 閉会

○事務局

林会長、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、令和2年度第1回小高区地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

令和2年度第1回小高区地域協議会会議録

会議録署名人

阿部貞康

会議録署名人

橘 由美子